

今回は生きていくうえで
なくてはならない
重要な「食」について
考えたいと思います

私自身かつて定期的にヘルパーさんに食事を作ってもらい、栄養の偏りがなかったためか、何年も風邪をひかなかった経験があります。今回は、なびいの昼食サービスを利用されているメンバーさんにお話を伺いました。

Q 昼食サービスをどうして利用しようと思いましたか？

A 一人暮らしの私にとって野菜を摂るのは難しいので、その目的で利用を決めました。バランスよく栄養の摂れるピアス弁当にしてから、今は体調もいいです。

Q 実際利用してみてどうでしたか？

A 昼食を決まった時間に摂れると、一日の過ごし方にメリハリがつけられます。また、なびいに行くと気分転換にもなるし、他のメンバーの頑張りも感じられて元気ももらえます。

Q 他に、昼食サービスのことでお得な情報とかありますか？

A 家では麦茶しか飲みませんが、なびいでは、10円払えばココア、紅茶、コーヒーなどが飲めるのも魅力です。

Q 今後昼食サービスに望むことはありますか？

A おかずにお魚がでるのは楽しみのひとつです。お魚をもっといれて欲しいですが、金曜日はなかなかお魚にあたらぬのが残念です。

インタビューのご協力、ありがとうございました。

実際利用されている方のお話を聞くと、「栄養を摂る」というだけでなく、「生活のメリハリをつける」「人に接することで気分転換になる」などの効果があるようです。

なびい昼食サービスは、(火)～(金)の12:00より、なびいでピアスのお弁当を食べることができるサービスです。料金は500円、当日10時半までにお電話で申し込みください。
(文責・櫻井 博)

職員研修報告



12月10日(土)に行われた棕櫚亭職員研修になびい職員も参加してきましたので、その内容について簡単にご報告します。

今回の研修は、棕櫚亭が来年30周年を迎えるということもあり、「棕櫚亭と私」というテーマで、約30人の職員で学びあいました。天野前理事長や新理事長の小林さん、その他ベテラン職員達から、棕櫚亭と共に歩んできた道のりを聞きました。一緒に働いていても、意外とこんなお話を聞く機会があまりなかったので、「棕櫚亭」という組織が何を大切にしてきたのか、これからの棕櫚亭の一員として自分に何が出来るのか…改めていろいろなことを知り、考える機会となった研修でした。

その後、違う部署の職員同士でグループを作り、「どんな棕櫚亭職員でありたいか」というテーマで話をしました。「メンバーの幸せ実現と職員自らが人として成長すること、考え続け、疑問をもち、言語化することを目指そう」と共有しました。(奥迫)